

環境経営レポート

2020（令和2）年度版
（対象期間：2020年6月～2021年5月）



株式会社中山商店

発行日 2022年4月8日

<目 次>

1. 環境経営方針	3
2. 組織の概要	4
3. 認証登録の対象組織・活動	8
4. 実施体制	9
5. 全社の環境経営目標と環境取組み結果	11
5-1 全社中期環境経営目標(2020年度～2022年度)	
5-2 <u>2020年度</u> 全社環境経営目標とその実績評価	
6. 本店の環境取組活動	14
6-1 中期環境経営目標(2020年度～2022年度)	
6-2 環境経営計画	
6-3 <u>2020年度</u> 環境経営目標の実績と取組の評価、次年度の活動	
7. 田原坂事業所の環境取組活動	17
7-1 中期環境経営目標(2020年度～2022年度)	
7-2 環境経営計画	
7-3 <u>2020年度</u> 環境経営目標の実績と取組の評価、次年度の活動	
8. 熊本工場の環境取組活動	19
8-1 中期環境経営目標(2020年度～2022年度)	
8-2 環境経営計画	
8-3 <u>2020年度</u> 環境経営目標の実績と取組の評価、次年度の活動	
9. 環境関連法規等の順守状況の確認及び評価の結果並びに 違反、訴訟等の有無	22
10. 代表者による全体の評価と見直しの結果・指示(全社)	23

環境経営方針

株式会社中山商店は、再生資源回収事業・産業廃棄物処理事業および自動車解体・破砕事業等を通じて資源を再生し、資源循環型社会の構築に寄与しています。

従って自社内における環境対策も当然地域一番を目指し、地域の見本にならないと考え下記の方針を定め、循環型社会のさらなる推進を通じて地球環境保護に努め、環境経営の継続的改善に努めます。

1. 該当する環境関連法規制等を遵守します。
2. 地球温暖化の原因となっている二酸化炭素の排出量を削減するため、電力使用量・燃料使用量の削減など省エネルギーに努めます。
3. 収集運搬車のエコドライブを実践し、省エネルギーと排ガスの抑制に努めます。
4. 回収資源及び受託した産業廃棄物は適正処理して可能な限り再資源化し、リサイクル率の向上に努めます。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. 化学物質を適正に管理します。
7. 排出事業者への環境情報提供および分別の指導を行います。
8. 地域との調和に努め、工場周辺の清掃活動を行います。

制定日 平成15年5月1日

改訂日 令和3年6月1日

株式会社中山商店

代表取締役

中山 大輔

2. 組織の概要

(1) 名称および代表者名

株式会社中山商店
代表取締役 中山 大輔

(2) 所在地

- 本店 熊本市北区植木町投刀塚 1 5
- 熊本工場 熊本市北区改寄町前原 1 8 3 7 - 1
 - 駐車場（無人）熊本市北区植木町広住 8 7 1
- 田原坂事業所 熊本市北区植木町轟字牛ケ迫 2 7 0 2

(3) 環境管理責任者および担当者連絡先

◇環境管理責任者 取締役 北村寿朗
連絡先 電話：096-272-0100 FAX: 096-273-1425

◇環境管理担当者
本 店 代表取締役 中山大輔
連絡先 電話：096-272-0100 FAX: 096-273-1425
熊 本 工 場 取締役 北村寿朗
連絡先 電話：096-272-6877 FAX: 096-272-6877
田原坂事業所 所 長 金井智樹
連絡先 電話：096-273-4628 FAX: 096-273-4628

- ### (4) 沿革
- 1 9 5 3(昭和 28)年 6 月 1 日 中山商店開業
 - 1 9 8 0(昭和 55)年 11 月 26 日 株式会社中山商店に組織変更
 - 1 9 8 5(昭和 60)年 1 月 熊本工場開設
 - 1 9 9 4(平成 6)年 10 月 田原坂事業所開設
 - 2 0 1 2(平成 24)年 7 月 本店を新築移転

(5) 事業内容

- 本 店：再生資源回収業(非鉄金属、製紙原料等)、一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 熊 本 工 場：再生資源回収業(金属)、産業廃棄物処分業(中間処理)、自動車解体業、自動車破碎業、使用済自動車引取業、フロン回収業
- 田原坂事業所：再生資源回収業(廃プラスチック等)、一般・産業廃棄物処分業(中間処理)

(6) 資本金 1,000 万円

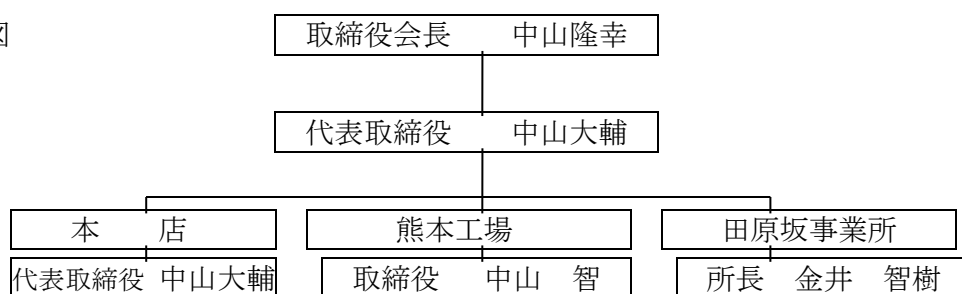
(7) 事業の規模 2020(令和 2)年度

売上高	81,054	万円
再生資源仕入量	19,972	トン
一般廃棄物収集運搬量	961	トン

項目	全社	本店	田原坂事業所	熊本工場
売上高(百万円)	810	—	—	—
従業員数(人)	36	22	4	10
敷地面積(m ²)	24,400	14,000	2,900	7,500
再生資源仕入量(t)	19,972	10,924	224	8,823

(8) 事業年度 6月1日～翌年5月31日

(9) 組織図



(10) 産業廃棄物処分業の許可の内容、施設等の状況など

	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業区分
熊本市	第08121035131号	H29.12.3	R4.12.2	中間処理業

事業の範囲、事業の用に供する施設 (熊本市北区改寄町1837-1)

事業区分	施設の種類	取り扱う産業廃棄物の種類	処理能力
中間処理	選別(ニブラ)	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、	24t/日
	切断(ギロチン)	ガラスくず・コンクリートくず及び	80t/日
	圧縮(プレス)	陶磁器くず、がれき類 (自動車破砕物含む)	24t/日

事業の範囲、事業の用に供する施設 (熊本市北区植木町轟字牛ヶ迫2703他)

事業区分	施設の種類	取り扱う産業廃棄物の種類	処理能力
中間処理	圧縮・梱包	廃プラスチック類、紙くず、繊維くず、	290.8t/日
	圧縮	金属くず	5.3t/日
	減容	廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る)	0.64t/日
	破砕	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず	4.7t/日 (8h)

保管施設の概要 (熊本市北区改寄町 1837-1)

種類	保管の上限	面積	施設の構造	産業廃棄物の種類
選別	67 m ³	50 m ²	コンクリート 舗装	廃プラスチック類、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類
切断	173 m ³	130 m ²		
圧縮	67 m ³	50 m ²		

(11) 産業廃棄物収集運搬業許可の内容、施設等の状況など

自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業区分
熊本県	第 04300035131	R2.11.5	R 7.11.4	積替え・保管除く
産業廃棄物の種類： 汚泥、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず、がれき類				

(12) 特別管理産業廃棄物収集運搬業許可の内容、施設等の状況など

自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業区分
熊本市	第 08162035131	R4.2.17	R9.2.16	積替え・保管含む
産業廃棄物の種類： 廃酸 積替え・保管施設：熊本市北区改寄町前原 1837-1 42 m ²				

(13) 一般廃棄物処分業許可の内容、施設

自治体	許可番号	許可年月日	有効年月日	事業区分
熊本市	第 2-16 号	R3.3.26	R.5.3.25	中間処理業

事業の範囲、事業の用に供する施設 (熊本市北区植木町轟字牛ヶ迫 2703 他)

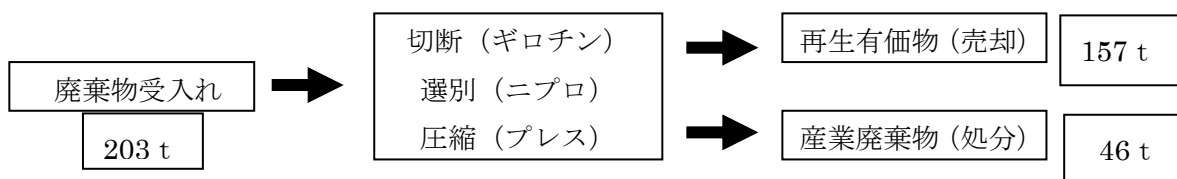
事業区分	施設の種類	取り扱う産業廃棄物の種類	処理能力
中間処理	圧縮・梱包	廃プラスチック製品類、古紙類、廃繊維類	290.8t/日
	圧縮	廃金属製品類	5.3t/日
	減容	廃プラスチック製品類(廃発泡スチロールに限る)	0.64t/日
	破碎	廃プラスチック類、古紙類、剪定木くず類、 廃木製品類、廃繊維類、廃ゴム製品類、 廃金属製品類	4.7t/日 (8 h)

保管施設の概要 (熊本市北区植木町轟字牛ヶ迫 2703 他)

施設の種類	一般廃棄物の種類	面積 m ²	保管量 上限m ³	構造
圧縮・梱包	廃プラスチック製品類、古紙類、 廃繊維類	42.0	22.5	屋内床面
		84.5	73.0	コンクリート
圧縮	廃金属製品類	56.4	54.8	屋内床面
		33.1	32.2	コンクリート
減容	廃プラスチック製品類(廃発泡スチロールに限る)	9.2	4.6	同上
破碎	廃プラスチック類、古紙類、剪定木くず類、廃木製 品類、廃繊維類、廃ゴム製品類、廃金属製品類	36.0	18.0	同上
		33.1	32.2	屋外床面コ ンクリート

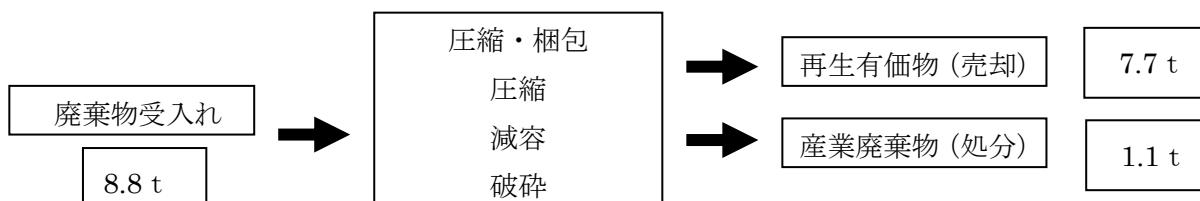
(14) 処理工程図 (産業廃棄物)

1) 熊本工場処理工程図 (所在地) 熊本市北区改寄町前原 1837-1



*有価回収再生資源も本処理工程にて処理する

2) 田原坂事業所処理工程図 (所在地) 熊本市北区植木町轟字牛ヶ迫 2703 他



*有価回収再生資源も本処理工程にて処理する

(注) 全社の有価回収再生資源仕入量は、19,972 t であり、受託産業廃棄物処理量約 212 t は、処理量全体の約 1% である。

(15) 産業廃棄物収集運搬車両の種類と台数

種類	台数
平ボディー	4
脱着装置付コンテナ車	1
ダンプ	2
移動式クレーン付き	6

(16)一般廃棄物収集運搬車両の種類と台数

種類	台数
平ボディー	3
パッカー車	7

(17) 受託産業廃棄物処理実績 (期間：2020年6月～2021年5月)

1. (本店) 収集運搬量 127.3t

廃プラスチック類	34.0t
金属くず	41.2t
ガラスくず、がれき類	52.1t

2. (熊本工場) 処分量 203.6t

切断	金属くず	127.7t
圧縮・選別	廃プラスチック	29.5t
選別	ガラスくず、がれき類	46.4t

3. (田原坂事業所) 処分量 8.8t

圧縮・梱包	廃プラスチック類	7.7t
選別	ガラスくず、がれき類	1.1t

(18) 一般廃棄物処理実績

1. (本店) 収集運搬量 一般廃棄物 961.34t

2. (田原坂事業所) 処分量 13.3t

圧縮梱包溶融	廃プラスチック類	4.8t
圧縮・梱包	古紙	12.7t

3. 認証登録の対象組織・活動

(1)登録組織名：株式会社中山商店 (全組織・全事業活動)

(2)対象事業所：本店、熊本工場、田原坂事業所

(3)活動：再生資源回収業、産業廃棄物処分量(中間処理)、一般廃棄物処分量
一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、
特別管理産業廃棄物収集運搬業、
自動車解体業、自動車破砕業、使用済自動車引取業、フロン回収業

(4)認証・登録の対象範囲拡大の経緯

2005(平成17)年6月 田原坂事業所 認証・登録

2009(平成21)年 熊本工場認証・登録

2010(平成22)年 本店認証・登録

2012(平成24)年 本店移転認証登録

(5)レポートの対象期間：2020(令和2)年6月1日～2021(令和3)年5月31日

(6)レポートの発行日：2022(令和4)年4月8日

4. 実施体制



(実施体制 続き) 環境経営システムの役割と責任

代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の制定・改定、環境目標及び環境活動計画の承認 ・環境経営システム全体の取組状況の評価と全般的見直し（年1回以上） ・環境取組に必要な資源・人材の確保
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システム構築・運用の責任者 ・環境経営システムの代表者への報告 ・環境目標・環境活動計画の確認、進捗確認と修正の指示 ・環境情報の外部への連絡、緊急事態発生時の判断 ・問題の是正と予防措置の判断 ・環境教育訓練の計画と実施
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の代行、環境活動の事業所での推進 ・環境目標・環境活動計画の作成 ・環境活動計画の進捗の把握 ・環境実績データの集計 ・環境文書作成発行・環境記録作成管理
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境活動に関わる審議 ・環境目標に対する実績・環境活動計画の進捗の審議 ・問題の是正・予防措置の報告と成果確認
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・主担当の環境活動を推進する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

5. 全社の環境経営目標と環境取組み結果

5-1. 全社中期環境経営目標（2020年度～2022年度）

2019年度の実績を基準として、2020年度からの中期（3か年）環境目標を策定した。

（2020年度＝2020年6月～2021年5月）

項目	単位	2019年度 (実績:基準)	2020年度 (目標)	2021年度 (目標)	2022年度 (目標)
1.電力使用量	kWh	310,365	307,261	304,158	301,054
*CO2 排出係数 0.459	(kg-CO2)		- 1 %	- 2 %	- 3 %
2.軽油使用量	L	89,160	88,268	87,377	86,485
排出係数 2.58	(kg-CO2)		- 1 %	- 2 %	- 3 %
3.重油使用量	L	45,000	44,550	44,100	43,650
排出係数 2.71	(kg-CO2)		- 1 %	- 2 %	- 3 %
4.CO2 排出量	kg-CO2	494,440	489,496	484,551	479,607
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
5.仕入量当り CO2 排出量	kg-CO2/t	24.61	24.36	24.12	23.87
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
6.一般廃棄物排出量	kg	103	102	101	100
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
7.受託産廃リサイクル 率	%	98.6	98.7	98.8	98.9
			+0.1	+0.2	+0.3
8.水使用量	t	760	752	745	737
	*		- 1 %	- 2 %	- 3 %
(◇仕入量実績)	t	(20,095)	-	-	-

*項目 1,2,3,4,5,6,8 は削減、項目 7 は向上目標

*電力の CO2 排出量は、(株)新出光 平成 29 年度(2017 年度)調整後排出係数 0.459 使用

5-2. 全社環境経営目標とその実績評価(2020年度)

(2020年度=2020年6月~2021年5月)

項目	単位	2019年度 (実績・基準)	2020年度 (目標)	2020年度 (実績)	2020年度 達成率
1.電力使用量 *1	kWh	310,365	307,261	308,987	99.4%
2.軽油使用量	L	89,160	88,268	90,793	97.2%
3.重油使用量	L	45,000	44,550	42,000	106.1%
4.CO2 排出量	kg-CO2	494,440	489,496	489,890	99.9%
5.仕入量当り CO2 排出量	kg-CO2/ t	24.61	24.36	24.53	99.3%
6. 一般廃棄物排出量	kg	103	102	100	102.0%
7. 受託産廃リサイクル率*	%	98.6	98.7	77.6	78.6%
8. 水使用量	m ³	760	752	718	104.7%
(◇仕入量実績)	t	(20,095)	—	(19,972)	(99.4%)

*電力のCO2排出係数は、平成30年度(2017年度)出光興産調整後排出係数0.459を使用

*有価仕入の再生資源(鉄・非鉄・古紙・廃プラなど)19,972のリサイクル率は100%である。

<CO2排出量・仕入量当りCO2排出量の事業所別内訳>

1.CO2排出量 全社で達成率は、絶対値で99.9%、仕入量当たり99.3%だった。。

項目	単位	2019年度 (実績・基準)	2020年度 (目標)	2020年度 (実績)	2020年度 達成率
全社 CO2 排出量	kg-CO2	494,440	489,496	489,890	99.9%
本店 CO2 排出量	kg-CO2	191,042	191,042	171,040	111.7%
田原坂 CO2 排出量	kg-CO2	19,828	19,828	15,407	128.7%
熊本 CO2 排出量	kg-CO2	283,570	283,570	303,443	93.5%
項目	単位	2019年度 (実績・基準)	2020年度 (目標)	2020年度 (実績)	2020年度 達成率
全社 仕入量当り	kg-CO2/t	24.61	24.36	24.53	99.3%
本店 仕入量当り	kg-CO2/t	16.26	16.10	15.66	103%
田原坂仕入量当り	kg-CO2/t	103.2	102.2	68.78	149%
熊本 仕入量当り	kg-CO2/t	34.79	34.44	34.39	100.2%

<2020年度実績評価>

*事業場別には、後述します。

1.電力使用量の削減：(目標達成率：99.4%)

1)熊本工場の仕入量が672t増加した(2019年度比108%)ことが要因で、目標未達成になっている。前年度比は、99.6と0.4%減少している。

2)本店・田原坂事業所とも目標達成している。

2.軽油使用量の削減：(目標達成率：97.2%)

1)熊本工場の仕入量が672t増加した(2019年度比108%)ことが要因で、目標未達成となっている。

2)特に、軽油使用の重機を1台購入、重油使用の重機と入れ替えしたため、軽油使用量が増加した。重油使用量は減少した。

3.重油使用量の削減(熊本工場のみ)：(目標達成率：106%)

1)重油使用の重機を1台、軽油使用の重機に入れ替えたため、重油使用量が減少、目標達成している。ただし、軽油使用量が増加。

4.CO₂排出量の削減：(目標達成率：99.9%)

1)上記1～3による。

2)CO₂排出量は、目標達成率99.9%であるが、前年よりは改善している。

5.仕入量当たりCO₂排出量は、目標達成率99.3%であるが、前年よりは改善している。

6.その他の項目については、事業所別の実績評価を参照。

*次年度の活動については、事業所別の環境取組活動を参照。

6. 本店の環境取組活動

6-1. 本店中期環境経営目標（2020年度～2022年度）

項目	単位	2019年度 (実績:基準)	2020年度 (目標)	2021年度 (目標)	2022年度 (目標)
1.電力使用量	kWh	137,130	135,759	134,387	133,016
	*		- 1 %	- 2 %	- 3 %
2.軽油使用量	L	49,651	49,154	48,658	48,162
	*		- 1 %	- 2 %	- 3 %
3.CO2 排出量	kg-CO2	191,042	189,131	187,221	185,311
	*		- 1 %	- 2 %	- 3 %
4.仕入量当り CO2 排出量	kg-CO2/t	16.26	16.09	15.93	15.77
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
5.一般廃棄物 排出量	kg	67.3	66.6	66.0	65.3
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
6.水使用量	t	500	495	490	485
	*		- 1 %	- 2 %	- 3 %
(◇仕入量実績)	t	(11,751)	-	-	-

6-2. 本店環境経営計画

■(1)本店事務所の環境経営計画

取組み項目	担当	活動内容	実施状況→
1.電力使用量の削減 [主担当:中山康]	中山康	・不要時消灯の徹底、昼休み事務所消灯	○
	全員	・OA 機器(パソコン、プリンタ)の退社時の電源オフ	○
	中山康	・計量システム・現金支払機・遠隔監視システム退社時オフ	○
	中山康	・日除け・ブラインドによる夏季室温上昇防止	○
	中山康	・エアコンの設定温度(夏 28℃、冬 21℃) 徹底	○
	中山大	・エアコンフィルターの清掃/2週間に1回(6～9月、11～3月)	○
	中山大	・エアコンの終業15分前オフ ・自販機夜間オフ(タイマーセット済み)	○
2.一般廃棄物排出 量の削減 [主担当:中山康]	松浦	・廃棄物の分別・再資源化の徹底、分別箱の設置	○
	中山康	・「燃えるごみ」の重量実績把握	○
	松浦	・両面コピー・裏紙使用の推進	○
	中山康	・頂き物の早めの処理(果物等を腐らせない)	○

		* 落葉、雑草、道路清掃ごみは管理外とする。	○
3.水使用量の削減	松浦	・「節水」の掲示	○
	松浦	・効果的な散水の工夫	○
4.地域貢献清掃活動および社内清掃	中山康	・周辺道路・社内外回り清掃推進 (月1回以上)	○ ○

■(2)非鉄棟の環境経営計画

取組み項目	担当	活動内容	実施状況→
1.電力使用量の削減 [主担当：田口]	田口	・不要時消灯の徹底	○
	田口	・被覆剥離機の不使用時電源オフ	○
	田口	・切断機の使用時電源オフ	○
	川添	・エア工具・コンプレッサーの使用時電源オフ	○
2.軽油使用量の削減	田中	・フォークリフトの不要なアイドリングストップ	○
	田中	・フォークリフトの動線最適化（製品配置の最適化）検討	○

■(3)ベアラー棟・製品棟の環境経営計画

取組み項目	担当	活動内容	実施状況→
1.電力使用量の削減	本田	・不要時消灯の徹底	○
	松本真	・ベアラーの使用時電源オフ	○
2.軽油使用量の削減	本田	・フォークリフトの不要なアイドリングストップ	○
	甲斐	・フォークリフトの動線最適化（製品配置の最適化）検討	○

■(4)休憩室の環境経営計画

取組み項目	担当	活動内容	実施状況→
1.電力使用量の削減	利用者	・不要時消灯の徹底	○
	利用者	・テレビ・エアコンの使用時電源オフ	○
	利用者	・エアコン温度設定 夏28℃ 冬21℃	○
	利用者	・エアコンフィルタ清掃（2週間に1回、6～9月、11～3月）	○
2.一般廃棄物排出量の削減	利用者	・廃棄物の分別・再資源化の徹底、分別箱の設置	○
	利用者	・「燃えるごみ」の重量実績把握	○
	利用者	・弁当殻の洗浄・再資源化	○

■(5)ドライバーの環境経営計画

取組み項目	担当	活動内容	実施状況→
1.軽油使用量の削減 [主担当：村井]	村井	・エコドライブ教育の実施（機器によるドライブ診断）	○
	永井	・アイドリングストップの推進	○
	中村	・加減速のない運転の推進	○

	飯川 村井 村井	・タイヤの空気圧チェック実施推進（毎月1回） ・ドライブレコーダー装備 ・一般廃棄物収集ルート見直し・効率化	○ ○ ○
2.水使用量の削減 [主担当：中村]	中村 中村 中村	・効果的な洗車方法の工夫 ・配水管の漏水をチェックする（週1回） ・洗車手順書の作成	○ ○ ○

6-3. 本店 2020年度環境経営目標の実績と取組の評価、次年度の活動

項目	単位	2019年度 (実績・基準)	2020年度 (目標)	2020年度 (実績)	2020年度 達成率
1.電力使用量 *	kWh	137,130	135,759	130,795	104%
2.軽油使用量	L	49,651	49,154	43,025	114%
3.CO2排出量	kg-CO2	191,042	189,131	171,040	111%
4.仕入量当り CO2排出量	kg-CO2/t	16.26	16.09	15.66	103%
5.一般廃棄物排出量	kg	67.3	66.6	72.6	93%
6.水使用量	m ³	500	495	384	130%
(◇仕入量実績)	t	(11,751)	—	(10,924)	(93%)

- 1) 本店の電力使用量の目標達成は、仕入量の減少による。
仕入量は2019年度比93%と減少している。特に、最も電力を消費すると思われるペーラーの電気使用量に影響する古紙の仕入量は、9726 t（2019年度比90.7%）と994 t減少している。
- 2) 軽油使用量削減の目標達成は、一般廃棄物収集運搬量が961 t（2019年度比83.9%）と185 t減少したことが要因である。
- 3) CO2排出量は、上記1) 2) により達成率111%となっている。
- 4) 水使用量削減の未達成は、業務受託先の検車が厳格であるため、一般廃棄物収集運搬車（パッカー車）の洗車を強化したことにより増えていたが、落ち着いた。
- 5) (次年度)作業効率化のため主要な作業について手順書作成を継続する。

7. 田原坂事業所の環境取組活動

7-1. 田原坂事業所 中期環境経営目標(2020年度～2022年度)

項目	単位	2019年度 (実績・基準)	2020年度 (目標)	2021年度 (目標)	2022年度 (目標)
1.電力使用量	kWh	22,834	22,606	22,377	22,149
	*		-1%	-2%	-3%
2.軽油使用量	L	3,623	3,587	3,551	3,514
	*		-1%	-2%	-3%
3.CO2排出量 CO2排出係数 0.385	kg-CO2	19,828	19,630	19,431	19,233
	*		-1%	-2%	-3%
4.仕入量当り CO2排出量	kg-CO2/t	103.27	102.2	101.2	100.2
			-1%	-2%	-3%
5.一般廃棄物排出量	kg	2.3	2.3	2.3	2.3
6.受託産廃 リサイクル率	%	98.8	98.8	98.8	98.8
			—	—	—
7.水使用量	t	3	3	3	3
(◇仕入量実績)	t	(192)	—	—	—

7-2. 田原坂事業所 環境経営計画

取組項目	担当	活動内容	実施状況→
1.使用電力量の削減	金井	・ベアラー定修を実施し、機械のフリクションロスをなくす。	○
		・ベアラー及びコンベア不使用時の電源 OFF	○
		・作業工程の見直し(複数の機械の重複使用の見直し)	○
		・30℃以下でのエアコン使用禁止、定期的な清掃	○
		・破砕機の不使用時電源 OFF	○
2.軽油使用量の削減	金井	・フォークリフト等車両の無負荷運転禁止	○
		・作業工程の見直し	○
		・動線を再チェックし、製品置場をみなおす。	○
3.一般廃棄物排出量 削減	田上	・廃棄物の分別を徹底し、資源化する	○
		・事務所内に分別入れを設置する	○
4.水使用量の削減	金井	・洗車時の雨水タンクの利用	○
		・配水管の漏水チェック、蛇口の止水チェック	○
5.地域貢献活動	金井	・事業所前道路の清掃(年2回)	○

7-3. **田原坂事業所** 2020年度環境経営目標の実績と取組の評価、次年度の活動

項目	単位	2019年度 (実績:基準)	2020年度 (目標)	2020年度 (実績)	2020年度 達成率
1.電力使用量	kWh	22,834	22,606	17,396	130%
2.軽油使用量	L	3,623	3,587	2,877	125%
3.CO2排出量	kg-CO2	19,828	19,630	15,407	127%
4.仕入量当り CO2排出量	kg-CO2/t	103.27	102.2	68.78	149%
5.一般廃棄物排出量	kg	2.3	2.3	1.1	209%
6. 受託産廃 リサイクル率	%	98.8	98.8	88.1	89%
7.水使用量	m ³	3	3	4	75%
(◇仕入量実績)	t	(192)	—	(224)	(117%)

- 1)電力使用量：古紙減少、本店処理としたため、ベレー使用電力使用量が減少した。
- 2)軽油使用量削減の目標達成率 125%は、古紙処理量減少でフォークリフト使用減少が要因である。
- 3)受託産廃リサイクル率については、ガラス陶磁器くず受け入れが増加のため、リサイクル率が下がった。
- 4)その中で、環境活動計画は、着実に実施されている。
- 5) (次年度) 作業効率化のため主要な作業について手順書作成を継続する。

8. 熊本工場の環境取組活動

8-1. 熊本工場中期環境経営目標 (2020年度～2022年度)

* 項目	単位	2019年度 (実績・基準)	2020年度 (目標)	2021年度 (目標)	2022年度 (目標)
1.電力使用量	kWh	150,401	144,896	147,393	145,889
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
2.軽油使用量	L	35,886	35,527	35,168	34,809
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
3.重油使用量	L	45,000	44,550	44,100	43,650
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
4.CO2 排出量	kg-CO2	283,570	280,734	277,899	275,063
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
5.仕入量当り CO2 排出量	kg-CO2/t	34.81	34.46	34.11	34.77
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
6.一般廃棄物 排出量	kg	31.0	31	30	30
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
7.受託産廃 リサイクル率	%	98.6	98.6	98.6	98.6
			—	—	—
8.水使用量	t	257	254	252	249
			- 1 %	- 2 %	- 3 %
(◇仕入量実績)	t	(8,151)	—	—	—

8-2. 熊本工場環境経営計画

取組項目<主担当>	担当	活動内容	実施状況→
1.使用電力量の削減 ＜松本＞	村上 中村 北村 北村 北村 城戸 城戸 北村 北村	<ul style="list-style-type: none"> ・ベアリングおよびギロチンの不使用時電源オフ ・天井クレーン・コンプレッサーの不使用時電源オフ ・エアコンの室内温度設定（夏28℃、冬21℃）徹底 ・エアコンフィルターの定期的な清掃 ・エアコンの終業15分前オフ ・日除け・ブラインドによる夏季室温上昇防止 ・OA機器の退社時の電源オフ ・不要時消灯の徹底 ・自販機のタイマーセット（夜間のオフ） ・オンデマンド設置（設置済み） 	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
2.軽油使用量の削減 ＜西川＞	中村 中村 西川	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトの不要なアイドリングストップ ・アイドリングストップ推進 ・経済運転の実施 ・タイヤの空気圧チェック 	○ ○ ○ ○
3.重油使用量の削減 ＜中村＞	中村 井島	<ul style="list-style-type: none"> ・フォークリフトの不要なアイドリングストップ ・重機（マグネット、グラップル、ニプラー）の不要なアイドリングストップ 	○ ○ ○
5.一般廃棄物排出 削減　＜中村＞	中村 城戸 城戸	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の分別を徹底、再資源化（重量実績把握） ・両面コピー、裏紙使用の推進 ・事務所内に分別ボックスを設置する 	○ ○ ○
6.産廃のリサイクル 率向上	北村 北村	<ul style="list-style-type: none"> ・廃タイヤのリサイクルルートへの変更 ・他産廃のリサイクルルート調査検討 （埋立てからリサイクルへ） 	○ ○ ○
7.水使用量の削減	古川 古川 古川 古川	<ul style="list-style-type: none"> ・冷却装置の整備・点検(フローティングSWのごみ除去) ・水洗タンクに空容器をいれる。 ・配水管の漏水チェック、蛇口の止水チェック ・冬季の水道凍結防止 ・油水・汚水の流出阻止 	○ ○ ○ ○
8.地域貢献活動 ＜中山大＞	北村	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所前道路の清掃実施 	○
9.化学物質管理 ＜中村＞	中村	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車フロンの適正管理 	○

8-3. 熊本工場 2020年度環境経営目標の実績と取組の評価、次年度の活動

項目	単位	2019年度 (実績:基準)	2020年度 (目標)	2020年度 (実績)	2020年度 目標達成率
1.電力使用量	kWh	150,401	144,896	160,796	90%
2.軽油使用量	L	35,886	35,527	44,890	79%
3.重油使用量	L	45,000	44,550	42,000	106%
4.CO2 排出量	kg-CO2	283,570	280,734	303,442	93%
5.仕入量当り CO2 排出量	kg-CO2/t	34.81	34.46	34.39	100.2%
6.一般廃棄物排出量	kg	31.0	31	26.3	118%
7.受託産廃リサイクル率	%	98.6	98.6	77.1	128%
8.水使用量	t	257	254	330	77%
(◇資源仕入量)	t	(8,151)	—	(8,823)	108%

- 1) 電力使用量、軽油使用量、従って CO2 排出量削減はいずれも、仕入量の増加(2019年度比 108%)=処理量の増加により、未達成となっている。
特に、重油使用の重機 1 台を、軽油使用重機に入れ替えたため、軽油使用量が増加している。
- 2) 重機の重油使用量が目標達成率 106%、仕入量当りの CO2 排出量は 100.2%と、作業の効率化が出来ている。
- 3) 一般廃棄物排出量は、月 2.2 k g と減量の限界に近いところまできている。
- 4) 受託産廃リサイクル率実績は、ガラス陶磁器くず受入れ量増加のため、77.1%であるが、仕入再生資源 8823 t は 100%リサイクルされる。
- 5) 水使用量は、冬期の水道管凍結による漏水があり、目標未達成となっている。
- 6) (次年度) 作業効率化のため主要な作業について手順書作成を継続する。

9. 環境関連法規等の遵守状況の確認の結果、並びに違反・訴訟等の有無

1) 環境関連法規等の遵守状況

確認者：中山大輔

関連法規等	該当品・施設	要求事項	遵守状況 確認	評価
廃棄物処理法 (排出事業者)	廃プラスチック、廃 家電機器、木くず、 廃油、廃アルカリ	○委託契約書締結、 ○収集運搬業許可証確認 ○処分業許可証確認 ○マニフェスト交付・回収 ○保管場所掲示板 ○産業廃棄物管理票交付 状況等報告書（6月末）	2021.4.16	遵守
廃棄物処理法 (処理事業者)	収集運搬業：本店 処分業：熊本工場 田原坂事業所	○収集運搬業許可証期限 ○処分業許可証期限 ○産業廃棄物処理責任者	2021.4.16	遵守
自動車リサイ クル法	(熊本工場)	○引取業者登録 ○フロン類回収業者の登録 ○解体業者破砕業者許可 ○電子マニフェストの導入	2021.4.16	遵守
騒音規制法	プレス機、空気圧 縮機・送風機	○施設届出	2021.4.16	遵守
振動規制法	プレス機、空気圧 縮機・送風機	○施設届出	2021.4.16	遵守
消防法	(本店)(田原坂) 製紙原料置場 繊維くず置場 プラスチック置場	○指定可燃物貯蔵所届出 ○掲示板設置	2021.4.16	遵守
家電リサイク ル法	廃テレビ、冷蔵庫、 エアコン	リサイクル料金支払い 小売店への引き渡し	2021.4.16	遵守
資源有効利用 促進法	廃パソコン	メーカーへの返却 リサイクル処理委託	2021.4.16	遵守
フロン排出抑 制法	エアコン圧縮系統	簡易点検（3か月毎） フロン回収工程管理表	2021.4.16	遵守

2) 環境関連法規等への違反・訴訟等はこの2年間ありません。

10. 代表者による全体の評価と見直しの結果（全社）

1. 一般廃棄物の収集運搬先が、熊本市指定先に全面的に変更になったことから、前年度（2019年度）実績を基準とする、新中期環境経営目標を設定した。電力使用量、軽油使用量、重油使用量、これを含むCO₂排出量の削減については環境経営目標をほぼ達成している。仕入量が前年比 99.4%で、123 t 減少の結果とも言えるが、環境活動計画の1つ1つを確実に実施していることにもよる。
2. 仕入量が減少している時期であることから、主要な作業の手順の見直しと手順書の作成をこれから実施・継続してもらいたい。
3. 指示事項
 - 1) 環境経営方針は、2017年版ガイドラインに移行済みで、特に変更しない。
 - 2) 環境経営目標は、現状の目標を特に変更しない。
 - 3) 環境経営計画に、本店・熊本工場・田原坂事業所とも主要な作業について、作業手順書を整備し、作業の効率アップを図ること。
 - 4) 実施体制は、現状維持とする。